

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|------------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券／インデックス型 |
| 信託期間 | 無期限（設定日：2021年8月23日） |
| 運用方針 | マザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 |
| 主要投資対象 | 当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド 米ドル建ての新興国の公社債 |
| 当ファンドの運用方法 | ■JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 |
| 組入制限 | 当ファンド ■株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への実質投資割合は制限を設けません。 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド ■株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | ■年1回（原則として毎年11月30日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。） |

三井住友DS・新興国債 インデックス・ファンド

【運用報告書(全体版)】

(2021年8月23日から2021年11月30日まで)

第 1 期

決算日 2021年11月30日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

三井住友DS・新興国債インデックス・ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | (ベンチマーク) JPMorgan・エマージング・ マーケット・ボンド・インデックス・ プラス (円換算ベース) | 騰落率 | 公社債率 組入比率 | 純資産額 |
|---------------------|-------------|----------|-----------|---|--------|--------------|----------|
| | (分配落) | 税金 分配 | 期中 騰落率 | | | | |
| (設定日) 2021年8月23日 | 円 10,000 | 円 - | % - | 100.00 | % - | % - | 百万円 1 |
| 1期(2021年11月30日) | 9,918 | 0 | △0.8 | 99.06 | △0.9 | 94.9 | 1 |

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※ベンチマークは、当報告書作成時に知れた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | (ベンチマーク) JPMorgan・エマージング・ マーケット・ボンド・インデックス・ プラス (円換算ベース) | 騰落率 | 公社債率 組入比率 |
|---------------------|-------------|--------|---|--------|--------------|
| | 騰落率 | 騰落率 | | | |
| (設定日) 2021年8月23日 | 円 10,000 | % - | 100.00 | % - | % - |
| 8月末 | 10,066 | 0.7 | 101.04 | 1.0 | 97.7 |
| 9月末 | 9,923 | △0.8 | 99.99 | △0.0 | 93.8 |
| 10月末 | 10,106 | 1.1 | 101.58 | 1.6 | 94.1 |
| (期末) 2021年11月30日 | 9,918 | △0.8 | 99.06 | △0.9 | 94.9 |

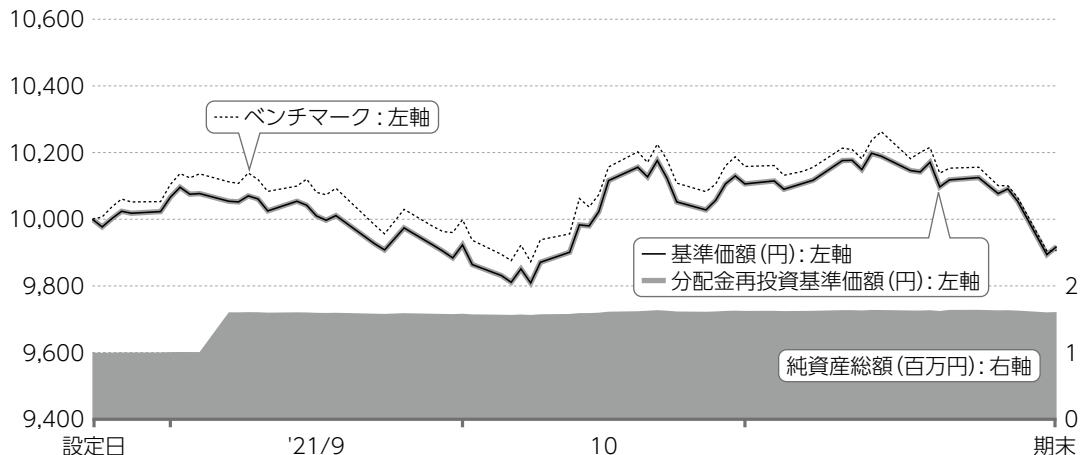
※騰落率は設定日比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年8月23日から2021年11月30日まで)

基準価額等の推移



※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | |
|-----|--------------------------|
| 設定日 | 10,000円 |
| 期末 | 9,918円 (既払分配金0円(税引前)) |
| 騰落率 | -0.8% (分配金再投資ベース) |

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2021年8月23日から2021年11月30日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の公社債に投資することにより、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 米国での金融緩和政策の正常化への動きを背景に、米ドルが対円で上昇したこと

下落要因

- 新型コロナウイルスの感染拡大への懸念や、米国での金融緩和政策の正常化への動きに対する警戒などを背景に、米ドル建て新興国債券の価格が下落したこと

投資環境について(2021年8月23日から2021年11月30日まで)

米ドル建て新興国債券市場は、下落しました。為替市場では米ドルが対円で上昇しました。

米ドル建て新興国債券市場

新たな変異型を含む新型コロナウイルスの感染拡大や、インフレの上振れ懸念を受けた米国での金融緩和政策の正常化への動きなどに対し、投資家の間で警戒感が高まりました。そのためにリスクセンチメント(リスクに対する投資家心理)が悪化したことで、米ドル建て新興国債券の価格は下落しました。

為替市場

インフレの上振れ懸念を受けた米国での金融緩和政策の正常化への動きを背景に、米ドルが対円で上昇しました。

ポートフォリオについて(2021年8月23日から2021年11月30日まで)

当ファンド

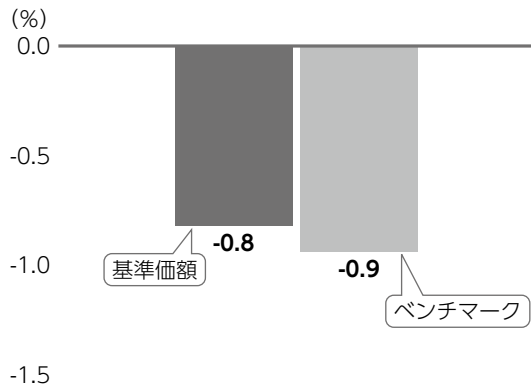
期を通じて、主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れました。

米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド

米ドル建ての新興国公社債に投資することにより、JPモルガン・エマーGING・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。ただし、運用の効率性を勘案し、流動性の高い国、銘柄を中心に投資しました。

ベンチマークとの差異について(2021年8月23日から2021年11月30日まで)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)をベンチマークとしています。

左のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は-0.8%(分配金再投資ベース)となり、ベンチマークの騰落率-0.9%を0.1%上方乖離しました。

上方乖離要因

銘柄の流動性リスクが著しく高いため、ポートフォリオで非保有としている一部の低格付銘柄が、他の銘柄に比べて大きく下落したため

分配金について(2021年8月23日から2021年11月30日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項目 | 第1期 |
|-----------|---------|
| 当期分配金 | 0 |
| (対基準価額比率) | (0.00%) |
| 当期の収益 | - |
| 当期の収益以外 | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 108 |

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れます。

米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド

米国では、当面は変異ウイルスの感染拡大が警戒されますが、景気の回復や金融政策の正常化を背景に、長期国債の金利は緩やかに水準を切り上げていく見通しです。

米ドル建て新興国債のスプレッド(米国国債に対する上乗せ金利)は、米国での金融政

策の正常化が意識されることが重石となりやすいと思われます。一方で、グローバルにみると景気回復の動きや潤沢な資金供給による流動性環境が維持されると見込まれることから、中長期的には安定した推移を予想します。

米ドル・円は、米国の景気回復や金融政策の正常化を背景に、米ドル高・円安圧力がかかる見通しです。

上記見通しのもと、引き続き、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)に近似させるよう運用を行います。ただし、運用の効率性を勘案し、流動性の高い国、銘柄を中心に投資します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

三井住友DS・新興国債インデックス・ファンド

1万口当たりの費用明細(2021年8月23日から2021年11月30日まで)

| 項 目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|----------------------|------------|---------------|---|
| (a) 信 託 報 酬 | 13円 | 0.129% | 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は10,035円です。</div> |
| (投 信 会 社) | (6) | (0.062) | 投信会社:ファンド運用の指図等の対価 |
| (販 売 会 社) | (6) | (0.062) | 販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (1) | (0.006) | 受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | - | - | 売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株 式) | (-) | (-) | |
| (先物・オプション) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (c) 有価証券取引税 | - | - | 有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株 式) | (-) | (-) | |
| (公 社 債) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 1 | 0.010 | その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用 |
| (保 管 費 用) | (1) | (0.009) | |
| (監 査 費 用) | (-) | (-) | |
| (そ の 他) | (0) | (0.002) | |
| 合 計 | 14 | 0.140 | |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

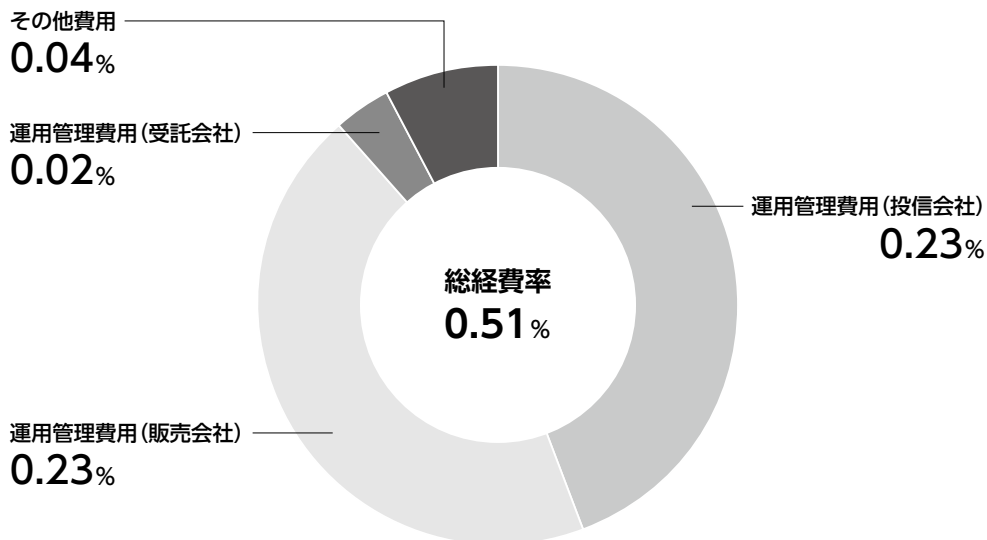
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.51%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年8月23日から2021年11月30日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| | 設 定 | | 解 約 | |
|-------------------------|-------------|-------------|---------|---------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド | 千口 1,594 | 千円 1,609 | 千口 - | 千円 - |

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年8月23日から2021年11月30日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年8月23日から2021年11月30日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況 (2021年8月23日から2021年11月30日まで)

| 期首 (元) | 残高 (本) | 当 期 設 定 本 元 | 当 期 解 約 本 元 | 期 末 残 高 (元) | 取 引 の 理 由 |
|-----------|-----------|----------------------------|----------------------------|-------------------------|-----------------------|
| | 百万円 1 | 百万円 - | 百万円 - | 百万円 1 | 当初設定時または当初運用時における取得等 |

■ 組入れ資産の明細 (2021年11月30日現在)

親投資信託残高

| 種 類 | 期 末 | |
|-------------------------|-------------|-------------|
| | 口 数 | 評 価 額 |
| 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド | 千口 1,594 | 千円 1,592 |

※米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンドの期末の受益権総口数は1,047,048,040口です。

■ 投資信託財産の構成

(2021年11月30日現在)

| 項 目 | 期 末 | |
|-------------------------|-------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド | 千円 1,592 | % 98.9 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 17 | 1.1 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 1,609 | 100.0 |

※米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（1,011,479千円）の投資信託財産総額（1,072,370千円）に対する比率は94.3%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.77円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年11月30日現在)

| 項 目 | 期 末 |
|------------------------------|------------|
| (A) 資 産 | 1,609,763円 |
| コー ル ・ ロ ー ン 等 | 17,000 |
| 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド(評価額) | 1,592,763 |
| (B) 負 債 | 1,910 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 1,910 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 1,607,853 |
| 元 本 | 1,621,093 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | △ 13,240 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 1,621,093口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D) | 9,918円 |

※当期における期首元本額1,000,000円、期中追加設定元本額621,093円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年8月23日 至2021年11月30日)

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------|----------|
| (A) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △16,237円 |
| 売 買 損 | △16,237 |
| (B) 信 託 報 酬 等 | △ 1,910 |
| (C) 当 期 損 益 金 (A + B) | △18,147 |
| (D) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 4,907 |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (4,907) |
| (E) 合 計 (C + D) | △13,240 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (E) | △13,240 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | 4,907 |
| (配 当 等 相 当 額) | (2,168) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (2,739) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 15,495 |
| 繰 越 損 益 金 | △33,642 |

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

| | 当 期 |
|----------------------------|---------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 15,495円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 2,168 |
| (d) 分配準備積立金 | 0 |
| (e) 当期分配対象額(a + b + c + d) | 17,663 |
| 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額 | 108.96 |
| (f) 分配金 | 0 |
| 1 万 口 当 た り 分 配 金 | 0 |

■ 分配金のお知らせ

| | 当 期 |
|-----------------------------|-----|
| 1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前) | 0円 |

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド

| | |
|------|---|
| 信託期間 | 無期限（設定日：2021年8月3日） |
| 運用方針 | ■ J P モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 ■ 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 |

「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」は初回決算を迎えていないため、記載すべき事項はございません。